

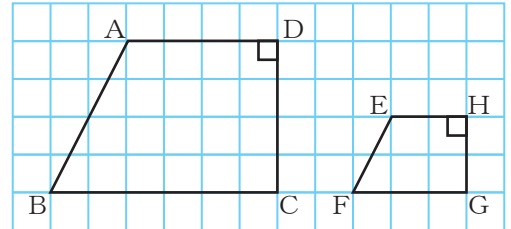
相似な図形(1)

相似

ある図形を形はそのままに拡大または縮小した図形があるとき、その図形と元の図形は**相似**であるといい、記号 \sim を使って $\triangle ABC \sim \triangle DEF$ のように表す。

例)右の図において、**四角形ABCD \sim 四角形EFGH**である。

対応する頂点を同じ順序で周にそって書く



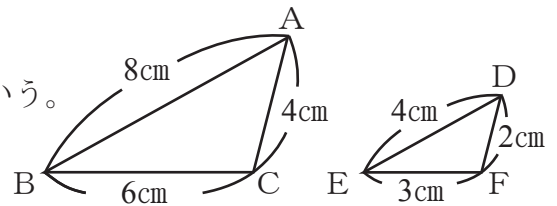
相似な図形の性質

- ①相似な図形の対応する部分(線分)の長さの比はすべて等しい。
- ②相似な図形の対応する角の大きさはそれぞれ等しい。

相似比

相似な図形の対応する部分(線分)の長さの比を**相似比**という。

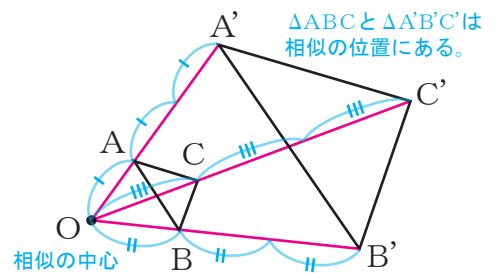
例)右の図において、 $\triangle ABC \sim \triangle DEF$ であるとき、 $\triangle ABC$ と $\triangle DEF$ の相似比は2:1である。



相似の中心と相似の位置

2つの図形の対応する点を結ぶ直線がすべて点Oを通り、点Oから対応する点までの長さの比がすべて等しいとき、2つの図形は**相似の位置**にあるという。また、この点Oを**相似の中心**という。

この性質を使うことで、相似な図形の作図ができる。



【1】右の図の四角形ABCDと四角形HGFEは相似である。次の問いに答えなさい。

(1) 相似の関係を記号 \sim を使って表しなさい。

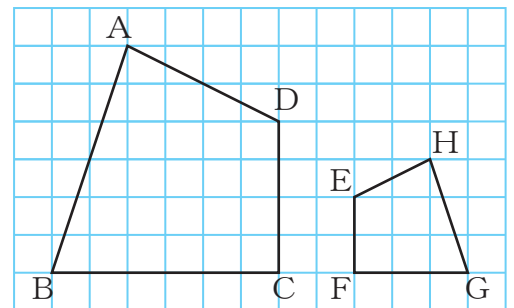
答え 四角形ABCD \sim 四角形HGFE

(2) 角Dに対応する角を答えなさい。 答え 角E

(3) 辺ADに対応する辺を答えなさい。 答え 辺HE

(4) 四角形ABCDと四角形HGFEの相似比を答えなさい。

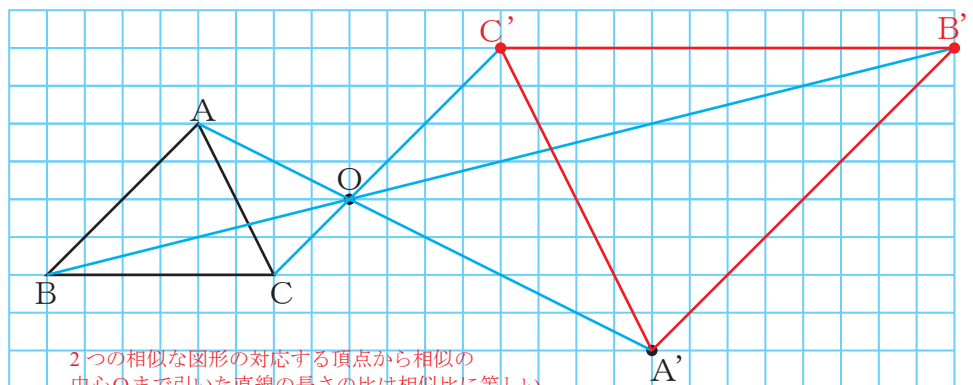
辺BCと辺GFに着目すると、 $6:3=2:1$ 答え 2:1



【2】点Oを相似の中心として、

頂点Aに対応するA'をとると、 $OA' = 2OA$ となるようにとると右の図のようになった。

$\triangle ABC$ と相似の位置にある $\triangle A'B'C'$ をかきなさい。



2つの相似な図形の対応する頂点から相似の中心Oまで引いた直線の長さの比は相似比に等しい。

$AO:OA'=1:2$, $BO:OB'=1:2$, $CO:OC'=1:2$ になるように、点A', B', C'をかく。

3点を直線で結ぶと、 $\triangle A'B'C'$ が作図できる。

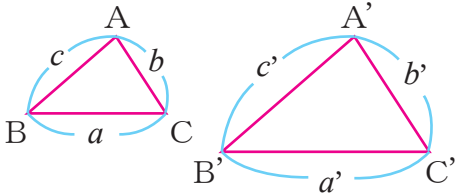


相似な図形(2)

三角形の相似条件

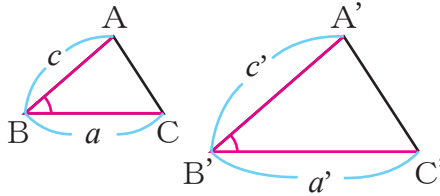
次の条件のうちのどれかが成り立つとき、2つの三角形は相似である。

① 3組の辺の比がすべて等しい。



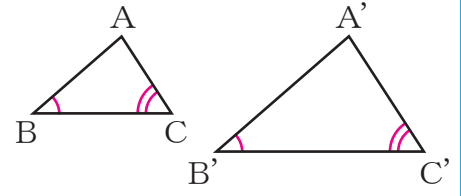
$$a : a' = b : b' = c : c'$$

② 2組の辺の比とその間の角がそれぞれ等しい。



$$a : a' = c : c', \angle B = \angle B'$$

③ 2組の角がそれぞれ等しい。



$$\angle B = \angle B', \angle C = \angle C'$$

【1】右の図で四角形ABCD \sim 四角形EFGHである。次の問いに答えなさい。

(1) 角Eの大きさを答えなさい。

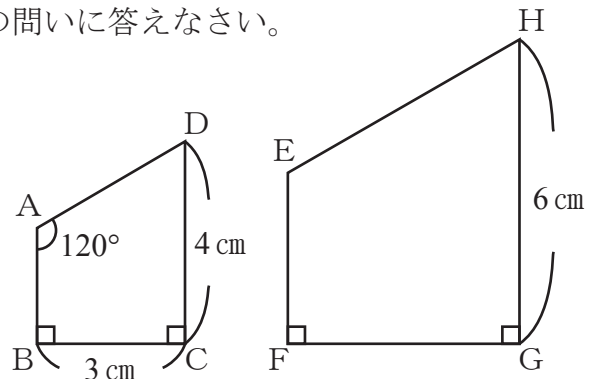
角Eと対応する角は角A。 答え 120°

(2) 四角形ABCDと四角形EFGHの相似比を答えなさい。

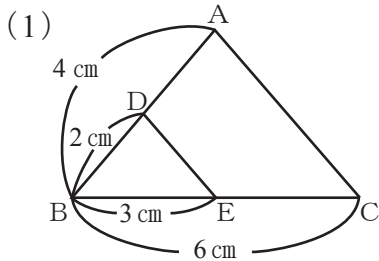
辺CDと辺GHに着目すると、答え 2 : 3
 $4 : 6 = 2 : 3$

(3) 辺FGの長さを答えなさい。

FG = x とすると、BC : FG = 2 : 3 より、 $3 : x = 2 : 3$
 $2x = 9$
 $x = 4.5$ 答え 4.5 cm

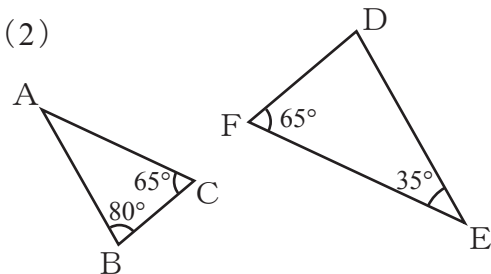


【2】下の図で相似な三角形を記号を使って表しなさい。またそのときの相似条件を答えなさい。



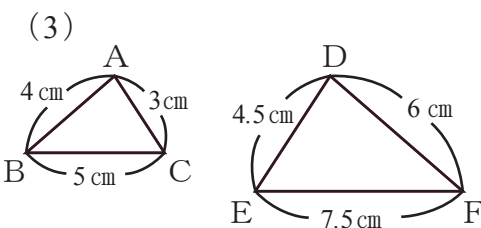
答え $\triangle ABC \sim \triangle DBE$

条件 2組の辺の比とその間の角がそれぞれ等しい。



答え $\triangle ABC \sim \triangle EDF$

条件 2組の角がそれぞれ等しい。



答え $\triangle ABC \sim \triangle DFE$

条件 3組の辺の比がすべて等しい。



相似な図形(3)

三角形の相似の証明

相似の証明には、対応する角の大きさや辺の長さの比に着目し、どの相似条件を利用するか考える。

【1】右の図の $\triangle ABC$ と $\triangle AED$ が相似であることを次の□をうめて、証明しなさい。

$\triangle ABC$ と ㉗ $\triangle AED$ で、

仮定より、 $AB :$ ㉘ AE $= 10 : 5 = 2 :$ ㉙ 1

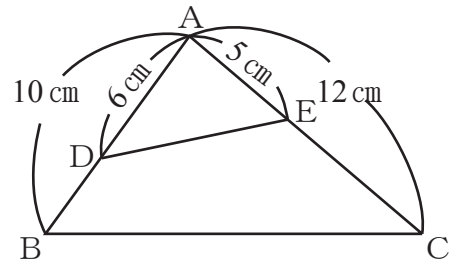
$AC :$ ㉚ AD $= 12 : 6 = 2 :$ ㉛ 1

よって、 $AB : AE = AC : AD \dots$ ㉜

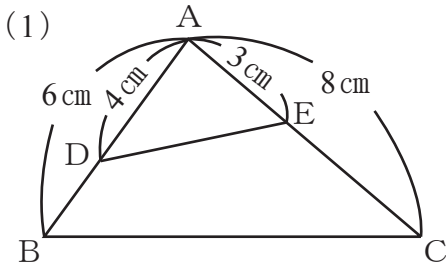
共通な角だから、 $\angle BAC =$ ㉝ $\angle EAD$ \dots ㉞

㉜、㉞より、㉟ 2 組の辺の比とその間の角 がそれぞれ等しいので、

$\triangle ABC \sim$ ㊱ $\triangle AED$



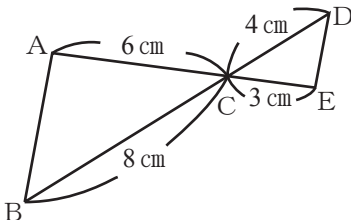
【2】下の図で相似な三角形を記号を使って表しなさい。またそのときの相似条件を答えなさい。



答え $\triangle ABC \sim \triangle AED$

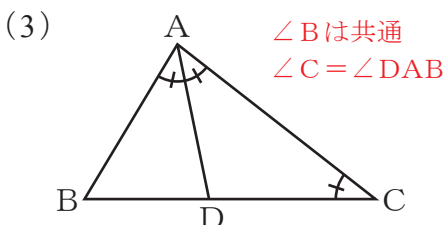
条件 2 組の辺の比とその間の角がそれぞれ等しい。

(2) 点Cは直線AE, BDの交点



答え $\triangle ABC \sim \triangle EDC$

条件 2 組の辺の比とその間の角がそれぞれ等しい。



答え $\triangle ABC \sim \triangle DBA$

条件 2 組の角がそれぞれ等しい。



相似な図形(4)

相似の活用

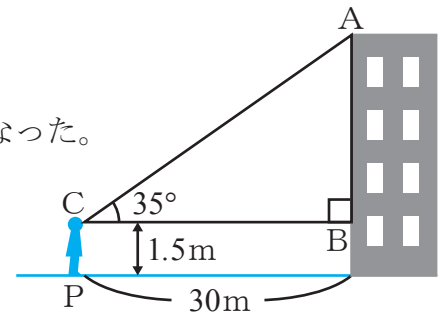
相似の関係を用いることで、直接はかることが難しい距離や大きさなどを、縮図や計算を使って求めることができる。

【1】あるビルの壁面から30m離れた地点Pからビルの屋上Aを見上げると、角度は水平方向に対して35°上になる。

$\triangle ABC$ の500分の1の縮図 $\triangle A'B'C'$ をかくと下の図のようになった。

この図を利用してビルのおよその高さを求めなさい。

ただし目の高さを1.5mとする。

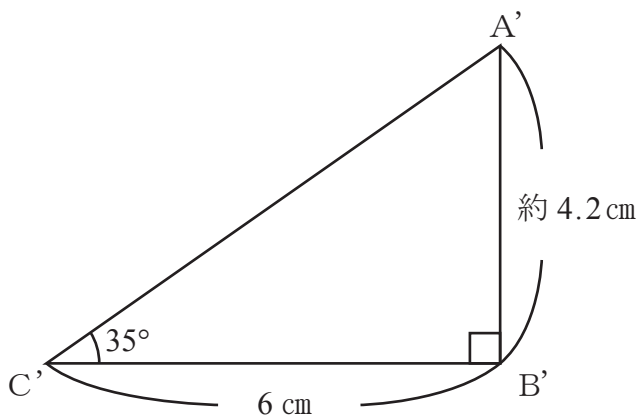


辺 $A'B'$ の長さである約4.2cmを500倍すると、 AB のおよその長さになるから、

$$AB = \frac{4.2 \times 500}{100} = 21 \text{ (m)}$$

目の高さ1.5mを加えて、

$$\text{(ビルの高さ)} = 21 + 1.5 = 22.5 \text{ (m)}$$

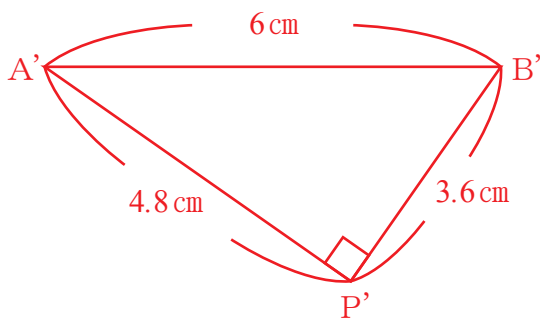
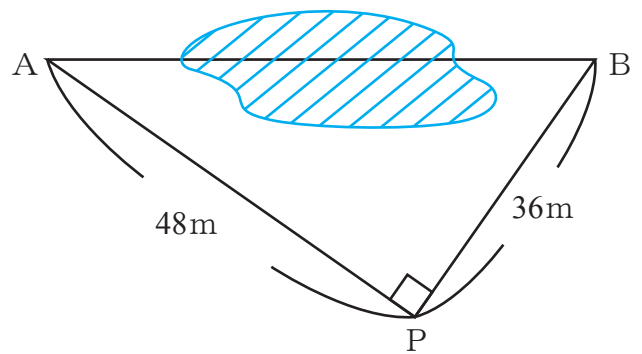


答え 22.5m

【2】池をはさんでいて直接測定できない点Aと点Bの間の距離をはかりたい。

$\angle APB = 90^\circ$ となる点Pから2点までの距離をはかると、 $PA = 48\text{m}$ 、 $PB = 36\text{m}$ だった。

$\triangle APB$ の1000分の1の縮図 $\triangle A'P'B'$ をかき、 $A'B'$ の長さから点 AB 間の距離を求めなさい。



$$A'P' = \frac{48 \times 100}{1000} = 4.8 \text{ (cm)}, \quad B'P' = \frac{36 \times 100}{1000} = 3.6 \text{ (cm)},$$

$\angle A'P'B' = 90^\circ$ の $\triangle A'P'B'$ をかき、辺 $A'B'$ の長さをはかると、6cmになる。

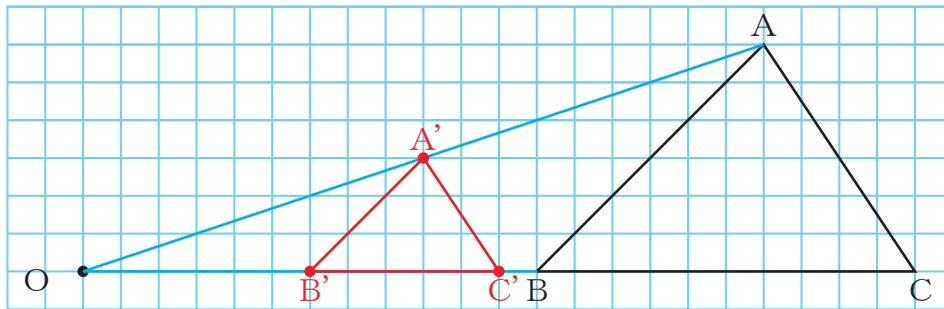
$$\text{よって, } AB = \frac{6 \times 1000}{100} = 60 \text{ (m)}$$

答え 60m



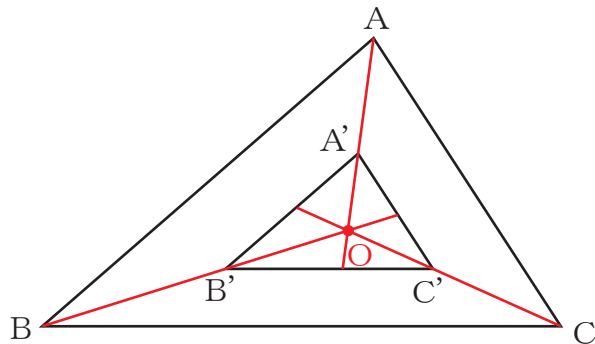
相似な図形(5)

【1】点Oを相似の中心として、 $\triangle ABC$ を2分の1に縮小した $\triangle A'B'C'$ をかきなさい。



$AO : A'O = 2 : 1$
 $BO : B'O = 2 : 1$
 $CO : C'O = 2 : 1$
 となるように3点 A', B', C' をとり、直線で結ぶ。

【2】下の図の $\triangle ABC$ と $\triangle A'B'C'$ は相似の位置にある。相似の中心Oを図にかき入れなさい。



対応する頂点を結ぶ線 AA', BB', CC' を延長して、
 3直線が交わる点を求める。
 (2直線でも良い)

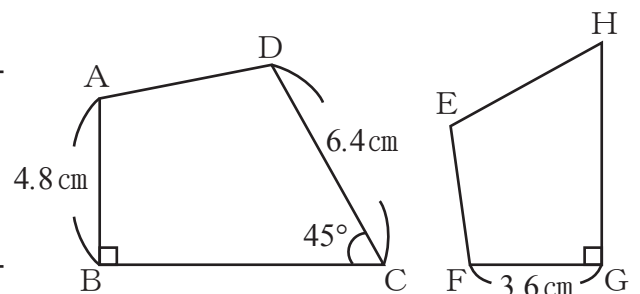
【3】右の図で四角形 $ABCD \sim$ 四角形 $FGHE$ である、次の問いに答えなさい。

(1) 角Hの大きさを答えなさい。

角Hと対応する角は角C。
 答え 45°

(2) 2つの図形の相似比を答えなさい。

辺ABと辺FGに着目すると、 $4.8 : 3.6 = 4 : 3$
 答え 4 : 3



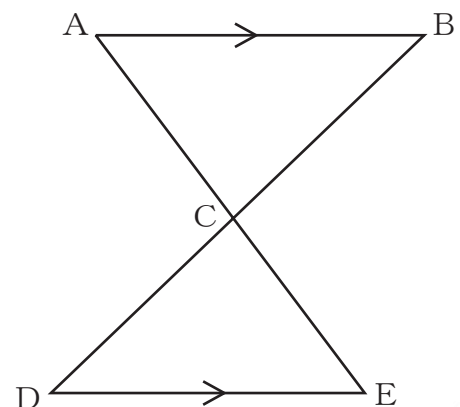
(3) 辺EHの長さを答えなさい。

$EH = x$ とすると、 $DC : EH = 4 : 3$ より、 $6.4 : x = 4 : 3$
 $4x = 19.2$
 $x = 4.8$

答え 4.8 cm

【4】右の図の $\triangle ABC$ と $\triangle EDC$ が相似であることを証明しなさい。ただし $AB \parallel DE$ である。

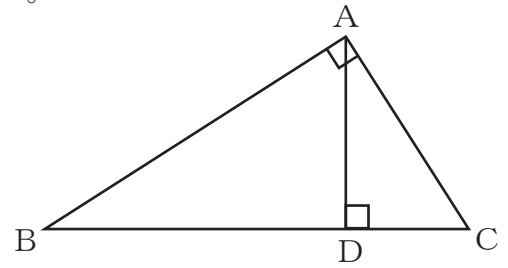
$\triangle ABC$ と $\triangle EDC$ で、
 対頂角だから、 $\angle ACB = \angle ECD \dots \textcircled{1}$
 錯角だから、 $\angle ABC = \angle EDC \dots \textcircled{2}$
 (または $\angle BAC = \angle DEC$)
 $\textcircled{1}, \textcircled{2}$ より、2組の角が等しいので、
 $\triangle ABC \sim \triangle EDC$



相似な図形(6)

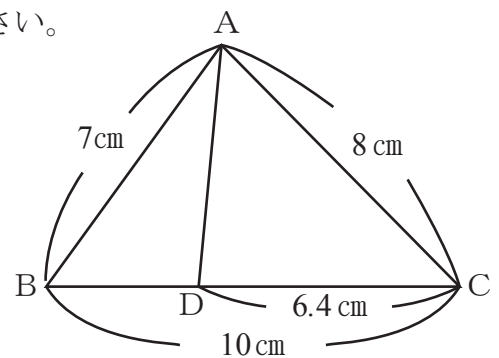
【1】右の図のように、 $\angle BAC = 90^\circ$ の直角三角形ABCの頂点Aから辺BCに垂線ADを引いたとき、 $\triangle ABD \sim \triangle CAD$ となることを証明しなさい。

- $\triangle ABD$ と $\triangle CAD$ で、
 $\angle BAD + \angle CAD = 90^\circ \dots \textcircled{1}$
 $\angle BAD + \angle ABD = 90^\circ \dots \textcircled{2}$
 $\textcircled{1}, \textcircled{2}$ より、 $\angle ABD = \angle CAD \dots \textcircled{3}$
 仮定より、 $\angle ADB = \angle CDA = 90^\circ \dots \textcircled{4}$
 $\textcircled{3}, \textcircled{4}$ より、2組の角が等しいので、 $\triangle ABD \sim \triangle CAD$



【2】右の図の $\triangle ABC$ と $\triangle DAC$ が相似であることを証明しなさい。

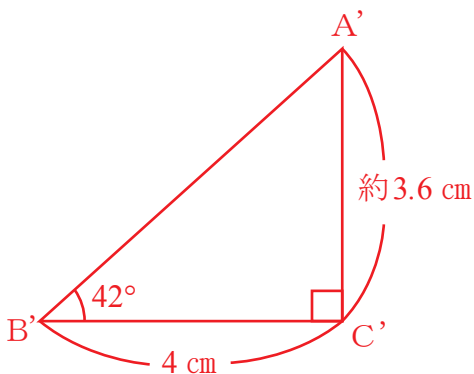
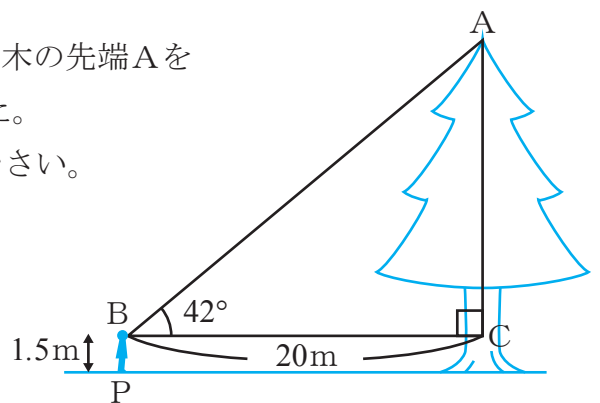
- また、線分ADの長さを求めなさい。
 $\triangle ABC$ と $\triangle DAC$ で、
 仮定より、 $BC : AC = 10 : 8 = 5 : 4$
 $AC : DC = 8 : 6.4 = 5 : 4$
 よって、 $BC : AC = AC : DC \dots \textcircled{1}$
 共通な角だから、 $\angle ACB = \angle DCA \dots \textcircled{2}$
 $\textcircled{1}, \textcircled{2}$ より、
 2組の辺の比とその間の角が
 それぞれ等しいので、
 $\triangle ABC \sim \triangle DAC$



$AD = x$ とすると、 $BA : AD = 5 : 4$ より、 $7 : x = 5 : 4$
 $5x = 28$
 $x = 5.6$

答え 5.6 cm

【3】右の図のように、ある木から20m離れた地点Pから木の先端Aを見上げると、角度は水平方向に対して 42° 上になった。
 $\triangle ABC$ の縮図をかいて、木のおよその高さを求めなさい。
 ただし、目の高さを1.5mとする。



$\frac{1}{500}$ の縮図 $\triangle A'B'C'$ をかくと、辺 $A'C'$ の長さは約3.6cmになる。この長さからACのおよその長さを求めると、

$$AC = \frac{3.6 \times 500}{100} = 18 \text{ (m)}$$

目の高さ1.5mを加えて、
 (木の高さ) = $18 + 1.5 = 19.5 \text{ (m)}$

答え 19.5m

